

# 「キャリア教育」って何？！

「キャリア教育」というのは、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれに相応しいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」と捉え、端的には「勤労観・職業観」を育てることです。「勤労観」とは、働くことの価値を理解することで、「職業観」とは、それぞれの職業に対する理解です。

今、このキャリア教育が大切に考えられています。

社会や子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化しています。特に、以下のような3つの事情から、キャリア教育を望む声が上がってきたのです。

- ① ニートやフリーターの増加や早期離職者の増加など就職・就業をめぐる環境の変化。
- ② 若者の勤労や職業に対する意欲の変化
- ③ 子どもたちの精神的・社会的な自立が遅くなっていること

これらの問題の解決に向けての取組の1つとして、キャリア教育が注目されています。本校でも、学校全体のカリキュラムをキャリア教育の視点から見直し、キャリア教育の視点で、取組を見直しています。

今回は、その一例をご紹介します。



## 不審者に注意

不審者の情報が絶えません。ご家庭でも、再度ご確認ください。

☆一人で遊びに行かない。

[危険なことがあれば]

☆大きな声を出したり、防犯ベルを鳴らして、助けを求める。

☆近くの大人の人に助けを求める。

☆近くの「こども110番の家」や開いている家や店に助けを求める。

そして、そのようなことがあれば、至急警察と学校に連絡してください。

音羽小学校 Tel.592-0001 四ノ宮交番 Tel.592-2611

## 平成18年度研究発表会での 大下さんのお箸の授業

平成19年1月26日に行った研究発表会では、算数科の授業や地域のボランティアの方々と一緒に進める授業を全国の先生方に見ていただきました。5年生では、PTA会長の大下さんのご協力を得て、お箸屋さんの仕事を通して、職業観を培う「キャリア教育」の授業を行いました。

子どもたちは、お箸のよさを説明する活動を通して、品物を売るときに何が大切かを考えました。

また、大下さんには、今年度の12月7日に行う研究発表会でも、授業にご協力いただく予定です。



## 音羽まつり

6月29日(金)1時間目～4時間目まで、「音羽まつり」を行いました。この「音羽まつり」というのは、全校を1年生から6年生まで、70の縦割りグループに分かれて行う活動です。それぞれのグループが、さまざまなゲームコーナーを作ります。前半と後半に分かれて、お店屋さんとお客さんの両方になります。

近年、異年齢の子どもたちが接する機会が減ってきています。1年生から6年生までいろいろな学年の子どもたちが、協力して何かを作り上げるという活動を意図的に設定していこうというのが、「音羽まつり」の趣旨です。そのために、5月2日に縦割りの顔合わせをして、6月13日の縦割り集会、6月20日の縦割り活動と、「音羽まつり」に向けての準備を進めてきました。それらの準備や本番の活動を通して、上級生がいろいろなことを下級生に教えたり、下級生が上級生にあこがれを抱いたり、お手本にしたりします。

この「音羽まつり」にも「キャリア教育」の視点を取り入れています。ゲームコーナーにお客さんと呼んだり、どうしたらもっと楽しんでもらえるか考えたり、待たせないための工夫をしたり、職業観・勤労観につながる要素がたくさんあります。いままでの縦割り活動に、この「キャリア教育」の視点を加えることで、子どもたちに対する働きかけや指導の仕方が変わります。

「キャリア教育」では、新しい教育活動も取り入れますが、「音羽まつり」のようにこれまでから行っている学習に「キャリア教育」の視点を付け加え、職業観や勤労観を育てていこうというものです。

## スチューデントシティの体験学習

平成18年2月2日(金)5年生は、スチューデントシティ体験学習に行きました。

このスチューデントシティというのは、小学生や中学生にいろいろな職業の体験学習ができるように、平成18年に建てられた施設です。この施設では、ローソン・セコム・京都銀行など12業種の職業体験ができます。本物の制服を着て「会社員や職員」になったり、「消費者」になって電子マネーで買い物をしたりもできます。

学校での事前・事後の学習も合わせて、子どもたちは社会の働きや経済の仕組み、社会と自分との関わりなどを学びます。

今年度も5年生が11月27日(火)に行きます。

